

知能機能システム専攻後期

専門科目(必修科目・知能機能システム後期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02CK001	知能機能システム特別研究III	3	2.0	1 - 3	通年	随時		知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導する。また、プレゼンテーションも行わせる。	必修
02CK002	知能機能システム特別研究IV	3	2.0	1 - 3	通年	随時		知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導する。また、プレゼンテーションも行わせる。	必修
02CK003	知能機能システム特別研究V	3	2.0	1 - 3	通年	随時		知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する研究を指導する。	必修
02CK005	知能機能システム特別演習VII(英語プレゼンテーション)	6	2.0	1 - 3	通年	応談		知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関するプレゼンテーション及びコミュニケーション技術の習得と向上をはかり、国際学会などにおいてそれぞれの研究に関する英語によるプレゼンテーションとコミュニケーションを行う。	必修 H22年度以降入学生対象
02CK006	知能機能システム特別演習VIII(学術論文演習a)	6	2.0	1 - 3	通年	応談		知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する学術論文のライティング技術の習得と向上をはかり、査読付雑誌論文誌に掲載される。	必修 H22年度以降入学生対象

専門科目(共通科目(特別演習))

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02CK007	知能機能システム特別演習IX(学術論文演習b)	6	2.0	1 - 3	通年	応談		知能機能システム担当教員	知能機能システム学術雑誌論文発表演習Iの単位を取得したものが、知能機能システムの各研究テーマに関する学術論文のライティング技術の習得と向上をはかり、査読付雑誌論文誌に掲載される。	当専攻の学生のみ履修可
02CK008	知能機能システム特別演習X(学術論文演習c)	6	2.0	1 - 3	通年	応談		知能機能システム担当教員	知能機能システム特別演習IXの単位を取得したものが、知能機能システムの各研究テーマに関する学術論文のライティング技術の習得と向上をはかり、査読付雑誌論文誌に掲載される。	当専攻の学生のみ履修可
02CK009	知能機能システム特別演習XI(研究計画立案演習)	6	2.0	1 - 3	通年	応談		知能機能システム担当教員	知能機能システムの各研究テーマに関する研究計画の立案を行い、これに基づいた科学研究費の交付申請書を執筆する(日本学術振興会特別研究員DC1・DC2採用者DC1及びDC2採用者対象)。	H22年度以降入学生かつ日本学術振興会特別研究員DC1・DC2採用者対象
02CK010	知能機能システム特別演習XII(学生委員会における運営等)	6	1.0	1 - 3	通年	応談		知能機能システム担当教員	学会等の学生委員会委員になり委員会の運営や活動に参画し、大きな貢献を果たす。	当専攻の学生のみ履修可
02CK011	知能機能システム特別演習XIII(専門分野を活かした社会貢献等)	6	1.0	1 - 3	通年	応談		知能機能システム担当教員	知能機能システム分野における自分の専門分野を活かした社会貢献活動等に参加し、大きな貢献を果たす。	当専攻の学生のみ履修可

専門科目(共通科目(研究開発マネジメント))

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02CK021	研究開発マネジメントVI(国内インターンシップI)	3	1.0	1・2	通年	応談		星野 聖	企業、官公庁の研究所、非営利団体などの現場における就労体験を通じて自らの能力涵養、適性の客観評価を図ると共に、将来の進路決定に役立てる。開始前の相手方、専攻間の了解と、終了後の報告書提出が単位取得の条件である。	01CK021と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02CK022	研究開発マネジメントVII(海外インターンシップ11)	3	2.0	1・2	通年	応談		星野 聖	外国の大学や研究機関、企業などの現場における就労体験を通じて、研究開発能力の涵養と、コミュニケーション能力の育成を図ると共に、将来の進路決定とキャリア形成に役立てる。開始前の相手方、専攻間の了解と、終了後の報告書提出が単位取得の条件である。	01CK022と同一。
02CK023	研究開発マネジメントVIII(チームインターンシップ11)	3	2.0	1・2	通年	応談		星野 聖	企業、官公庁の研究所、非営利団体などの現場におけるチームでの就労体験を通じて、自らの研究開発能力の涵養だけでなく、組織内協調、リーダーシップの発揮、チームとしての効率的な研究開発の進め方などを習得し、将来のキャリア形成に役立てる。開始前の相手方、専攻間の了解と、終了後の報告書提出が単位取得の条件である。	01CK023と同一。

専門科目(共通科目(特定演習))

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02CK031	知能機能システムコラボラトリー演習III	3	1.0	1	通年	応談		知能機能システム担当教員	異分野の研究室のゼミ等に参加し、異なる専門分野における問題やその解決方法を学ぶと共に、視野を拡げ自分の研究の深化に役立てる。これによって複数の工学分野やそれ以外の学問領域にまたがる問題を幅広い視点から適切に解決する能力、および移り変わる社会のニーズに対応した重要な問題を見極めそれを解決することによって社会または学術の進歩に貢献できる能力を養う。	
02CK032	知能機能システムコラボラトリー演習IV	3	1.0	2	通年	応談		知能機能システム担当教員	異分野の研究室のゼミ等に参加し、異なる専門分野における問題やその解決方法を学ぶと共に、視野を拡げ自分の研究の深化に役立てる。これによって複数の工学分野やそれ以外の学問領域にまたがる問題を幅広い視点から適切に解決する能力、および移り変わる社会のニーズに対応した重要な問題を見極めそれを解決することによって社会または学術の進歩に貢献できる能力をさらに強化する。	
02CK033	知能機能システム計画調書作成演習III	2	0.5	1	通年	応談		海老原 格, 水谷 孝一, 澁谷 長史, 橋本 悠希, 前田 祐佳, 大澤 博隆, 川崎 真弘, 新里 高行, 善甫 啓一, 廣川 暢一, 飯尾 尊優	知能機能システムの各研究テーマに関する研究計画を立案し、日本学術振興会特別研究員DC2を申請する。日本学術振興会特別研究員DC1及びDC2採用者の場合は、科学研究費の交付申請書を作成し申請する。	2020年度はオンラインで実施
02CK034	知能機能システム計画調書作成演習IV	6	0.5	2	通年	応談		水谷 孝一, 海老原 格, 澁谷 長史, 橋本 悠希, 前田 祐佳, 大澤 博隆, 川崎 真弘, 新里 高行, 善甫 啓一, 廣川 暢一, 飯尾 尊優	知能機能システムの各研究テーマに関する研究計画を立案し、日本学術振興会特別研究員DC2を申請する。日本学術振興会特別研究員DC1及びDC2採用者の場合は、科学研究費の交付申請書を作成し申請する。	2020年度はオンラインで実施